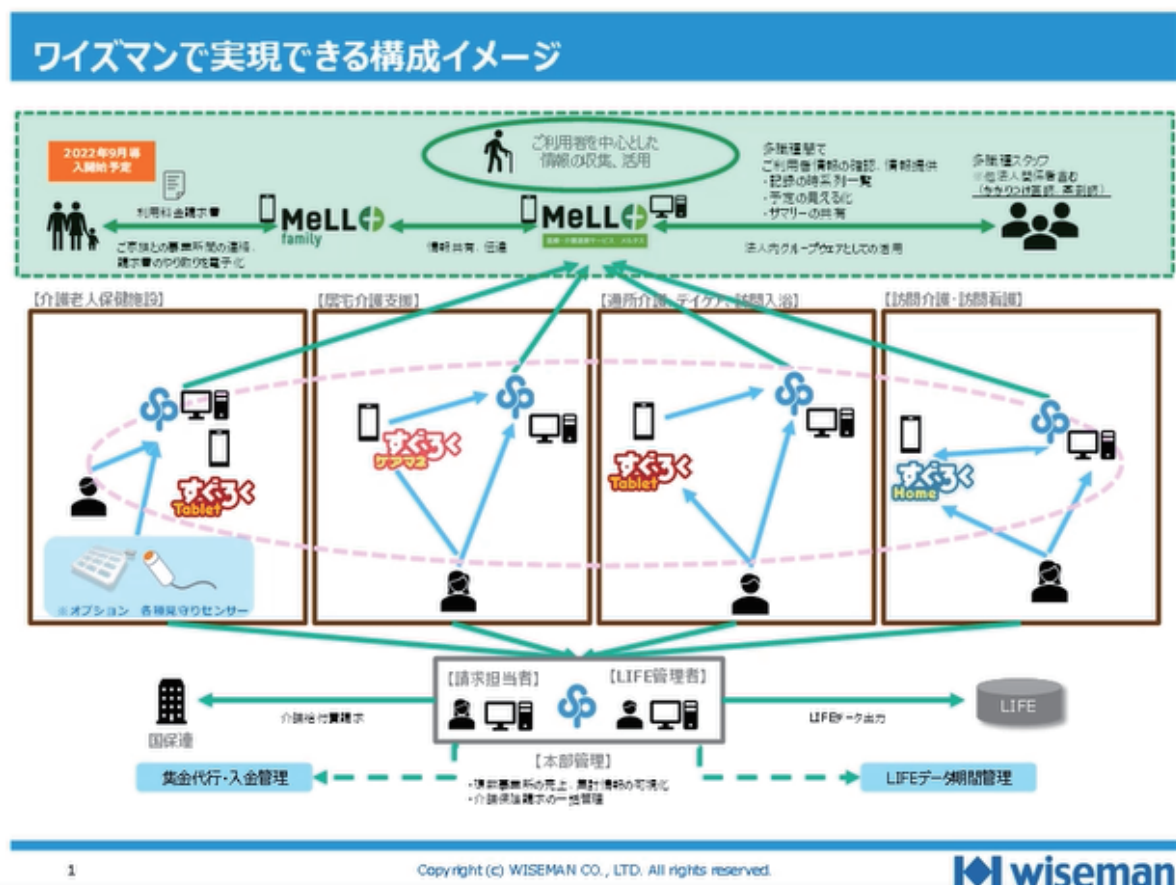


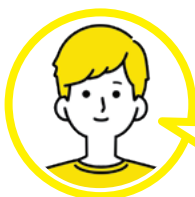
- ご利用者の安全性の向上と職員の負担軽減の実績 -

介護ソフト ウイズマンの導入

介護事業に特化したパッケージシステムで、請求処理や集計資料の出力、タブレットを活用したケア記録など、業務全般を支援します。当法人のような医療・介護分野で多角的運営をする法人には、介護ソフトワイズマンと連携サービス「メルタス」が適切でした。



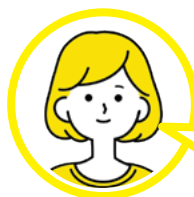
スタッフの声



介護ソフト・ワイズマン

デジタルが苦手でも安心！

介護ソフト自体がシンプルなので、苦手意識なく操作できます。また直感的に項目を選択できる仕様になっているので、これまでよりも記録がしやすく、スピードも早くなりました。



介護ソフト・ワイズマン

申し送りが短縮。密な情報共有！

これまでは多職種間で記録を転記しなければならなかったのですが、ワイズマンは記録から請求まで一気通貫で管理できます。必要な時に必要な情報を得ることができるので、申し送り時間が大幅に短縮し、情報共有の質が向上しました。

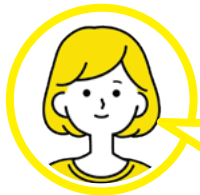
眠りスキャン（パラマウントベッド社）の導入

シート状のセンサーをマットレスの下に敷きこむことで、睡眠・覚醒・心拍数・呼吸数を把握することができるセンサーです。



スタッフの声

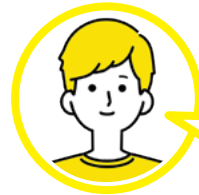
眠りスキャン



睡眠データをもとに分析！

センサーが寝返り、呼吸、心拍などを測定し、睡眠状態を把握します。データをもとにケアプランを見直したり、生活習慣の改善をするなど、サービスの質の向上に繋がっています。

眠りスキャン



安心して夜勤ができる！

常に見守りが出来ない場合も、呼吸状態等が確認できるので、変化があった際にはすぐ訪室し、対応することが出来ます。眠りスキャンを使用すると、どこにいても状態を確認できるので安心して夜勤できるようになりました。

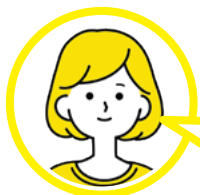
無線ナースコール ココヘルパG（ジーコム社）の導入

スタッフは居室内の映像を見ることが出来るため、居室へ駆けつける前に状況を判断し、より迅速で効率的に行動できます。また、離床センサにより起床時の転倒事故などのリスクがある場合には、検知する前の画像を録画できます。



スタッフの声

無線ナースコール



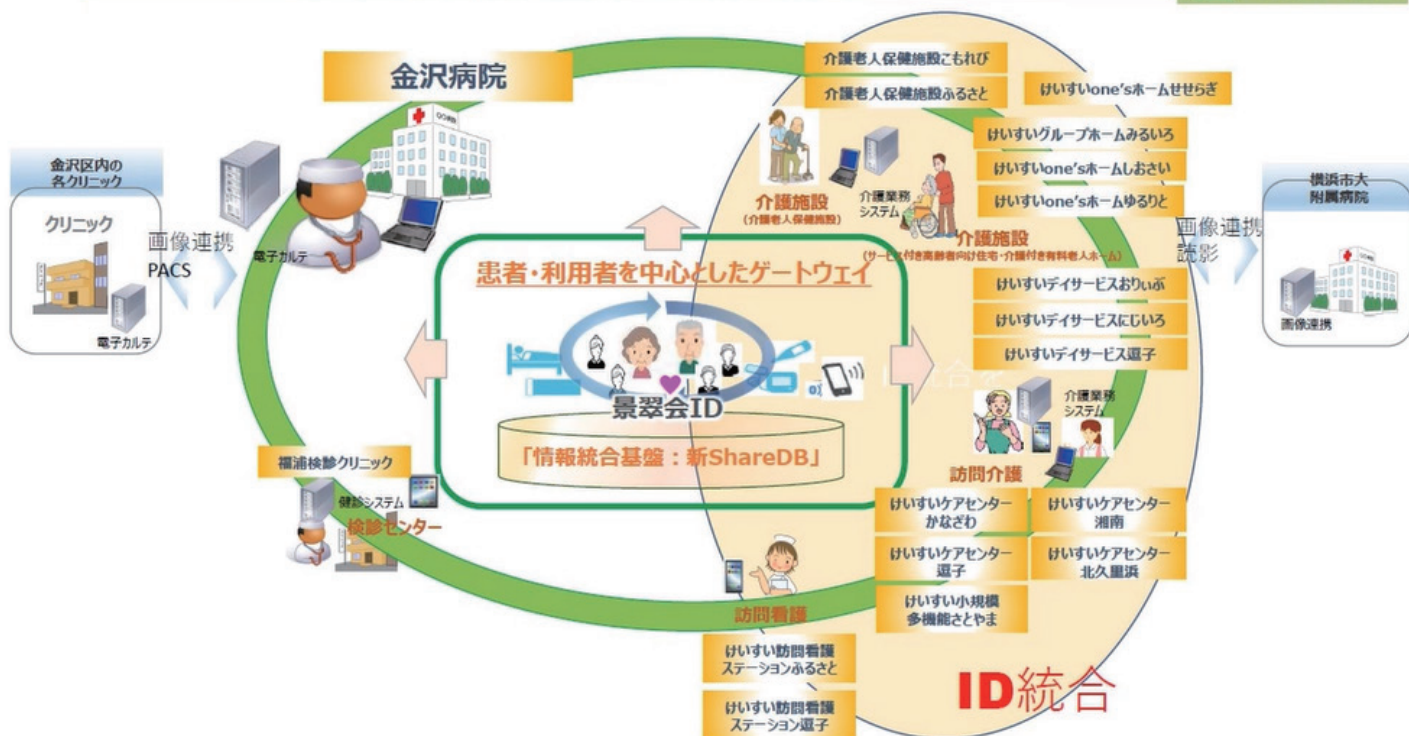
優先順位の判断が迅速に！

ナースコールが鳴った時、誰が対応しているかという情報まで共有できるようになりました。そのため、コールが重なった時も優先順位の判断がしやすく、対応効率が上がりました。

導入にあたって基本となる法人の全体方針

景翠会の Dx プラットフォーム構想

ITでの地域包括支援サービスの現状と予定：2021年時点



- ICT・大規模修繕の各補助金を活用し、ワイズマン社の介護記録ソフト及びパラマウントベットの眠りSCAN（マットセンサー）・介護ベッドの導入準備完了。
- 2老健・在宅事業本部各事業所への統一ソフトを導入させ、手入力での作業を電子化することで業務負荷軽減を実現させる。
- 統一ソフト導入により、各施設ご利用者様のID統合を行う。介護部門のID統合により、継続して景翠会全体のID統合を目指す。

厚生労働省のパンフレットにグループ施設・老健こもれびの取り組みが紹介されています！

厚生労働省の介護サービスの質の向上に向けた業務改善の手引きより

厚生労働省 老健局

03 タブレット端末を使い、紙を転記する手間から脱却し、日々の利用者情報を電子化
～医療法人社団景翠会 介護老人保健施設 こもれびにおける取り組み～

03-1 取り組みの概要

景翠会グループの介護老人保健施設であり、介護サービスを提供する中で、利用者情報の電子化による業務改善の取り組みを行っています。

03-2 取り組みの経緯

景翠会グループの介護老人保健施設は、高齢者や障害者の生活支援を目的として、介護サービスを提供しています。従来は、利用者情報を紙で記録していたため、転記作業が多く、業務負担が重かった。そこで、タブレット端末を導入し、利用者情報を電子化することで、業務負担を軽減し、サービスの質を向上させることを目指しました。

03-3 取り組みの成果

タブレット端末を導入後、利用者情報の転記作業が大幅に削減され、業務負担が軽減されました。また、利用者情報の電子化により、情報の共有が容易になり、サービスの質が向上しました。